

待機接続から自動接続へ
市井台による「行くつながる電報」

Due to shortage of junction circuits, it was hard to wait for lines after they applied for a toll call will be put connected. Then, the Public Corporation installed more junction circuits and started in 1953 to provide non-dwelling connections through normal switching.

通話申請が完了した後に電話局で待機していた通話機で、オペレーターに通話申し込みの受付が完了すると、オペレーターが通話機を操作して通話機を待機状態から通話状態に切り替えます。この通話機を待機状態から通話状態に切り替える作業を「行くつながる電報」といいます。1953年に開始されたこの作業は、通話機を待機状態から通話状態に切り替える作業を自動化するまで続きました。1953年に開始されたこの作業は、通話機を待機状態から通話状態に切り替える作業を自動化するまで続きました。



真実の手

It was the difficult work of a toll call. A signpost to find a way to get a toll call was shown for toll call was through this.

通話機を待機状態から通話状態に切り替える作業を「行くつながる電報」といいます。1953年に開始されたこの作業は、通話機を待機状態から通話状態に切り替える作業を自動化するまで続きました。1953年に開始されたこの作業は、通話機を待機状態から通話状態に切り替える作業を自動化するまで続きました。